

実施報告 第1回 STAMP ワークショップ in Japan

2016年12月5日(月)、6日(火)、7日(水)の3日間、九州大学稲盛財団記念館、九州大学西新プラザにおいて第1回 STAMP ワークショップ in Japan を開催し、約130名の皆様にご参加いただき、大盛況のうちに、無事終了いたしました。

簡単ではありますが、実施報告を以下の通り記します。

1. 開催日 : 2016年12月5日(月)、6日(火)、7日(水)
2. 開催場所 : 九州大学稲盛財団記念館 (12/5)、九州大学西新プラザ (12/6,7)
3. 開催内容 : 基調講演 (workshop×2、研究事例×1)、招待講演×6、一般講演×16
4. 参加費 : 無料。 懇親会 5,000円
5. 主催 : 科学研究費補助金 基盤研究 (S)「アーキテクチャ指向形式手法に基づく高品質ソフトウェア開発法の提案と実用化」(代表: 荒木啓二郎 (九州大学))
6. 共催 : 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)
 有人宇宙システム株式会社 (JAMSS)
 一般社団法人 組込みシステム技術協会 (JASA)
 日本 MOT 学会
7. 後援 : 九州組込みソフトウェアコンソーシアム (QUEST)
8. 当日参加者 : 参加予定者のうち当日欠席はわずか8名で117名が参加。出席率94%。
 事前登録・当日受付のいずれもしない参加者もいたので、実際の参加者は130名程度。
9. 事前登録者 : 聴講のみ91名、発表者25名、委員等9名。計125名 (重複除外済み)
10. 実施内容 (概要) :
 1日目: MITのDr. John ThomasによるSTPAチュートリアル(初級)、STPAチュートリアル(中級)、STPA事例研究のご講演を頂戴した。続けて、4件の招待講演が行われた。招待講演はSTAMP関連が1件、形式手法関連が2件、その他1件。
 2日目: 招待講演では、STAMPと並び今後の安全性解析に有効性が期待され、また、STAMPとの組み合わせも期待されるレジリエンスエンジニアリングについて2件の講演が行われた。その後、ショート講演セッション、一般講演セッションA、B、Cで計11件の発表が行われた。
 3日目: 一般講演セッションD、Eで計5件の発表が行われ、最後のクロージングでは、次回以降のSTAMPワークショップ in Japan開催について議論が行われた。
11. 講演者 :
 Keynote speech : MIT Dr. John Thomas
 招待講演 (STAMP関係) : JAMSS 星野様、テムス研究所 北村様、JAMSS 野本様
 招待講演 (形式手法) : 名古屋大学 山本様、ソニー 栗田様
 招待講演 (その他) : 長崎県立大学 小松様
 一般講演 : 長崎県立大学 有田様、長崎県立大学 加藤様、会津大学 兼本様、日本大学 阿部様、
 仙台高専 大友様、首都大学東京 武居様、会津大学 清野様、愛知工業大学 小林様、

2016年12月16日(金)
第1回 STAMP ワークショップ in Japan
実行委員会

IPA/SEC 佐々木様、NEC 向山様、日本電気通信システム 羽田様、JR 東日本 阿満様、
IPA/SEC 三原様、京三製作所 高田様、日本ユニシス 福島様、日本ユニシス 青木様

12. 当日の様子 :

会場：九州大学稲盛財団記念館 (12/5)



開会挨拶 九大 荒木様



九州大学西新プラザ (12/6,7)



Keynote speech MIT Dr. Thomas



招待講演

JAMSS 星野様



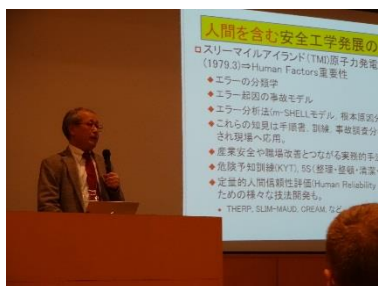
長崎県立大 小松様



名大 山本様



テムス研究所 北村様



JAMSS 野本様



一般講演 ショート講演セッション

①長崎県立大 有田様

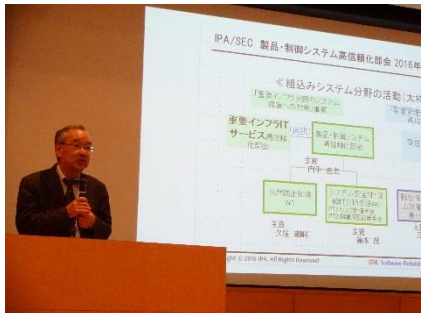


②長崎県立大 加藤様



一般講演セッション A

③会津大 兼本様



④日本大学 阿部様



⑤仙台高専 大友様



一般講演セッション B

⑥首都大学東京 武居様



⑦会津大 清野様



⑧愛知工業大 小林様



一般講演セッション C

⑨IPA/SEC 佐々木様



⑩NEC 向山様



⑪NCOS 羽田様



一般講演セッション D

⑫JR 東日本 阿満様



⑬IPA/SEC 三原様



⑭京三製作所 高田様



一般講演セッション E

⑮日本ユニシス 福島様



⑯日本ユニシス 青木様



クロージング

会津大 兼本様

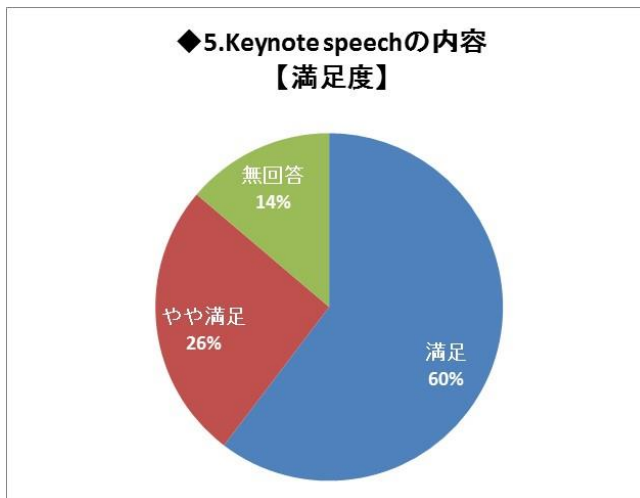
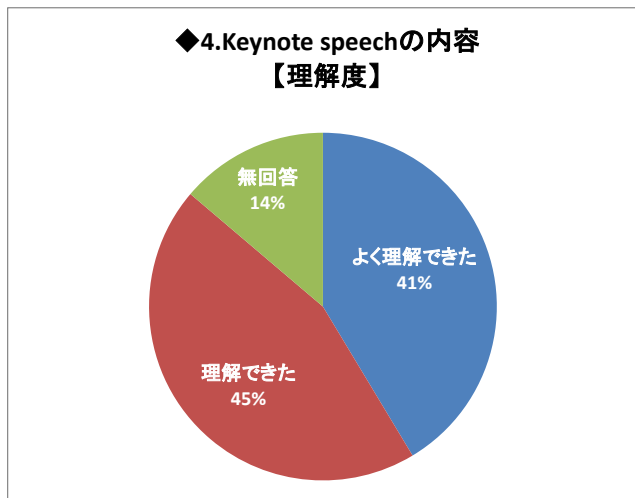


会場撤収完了

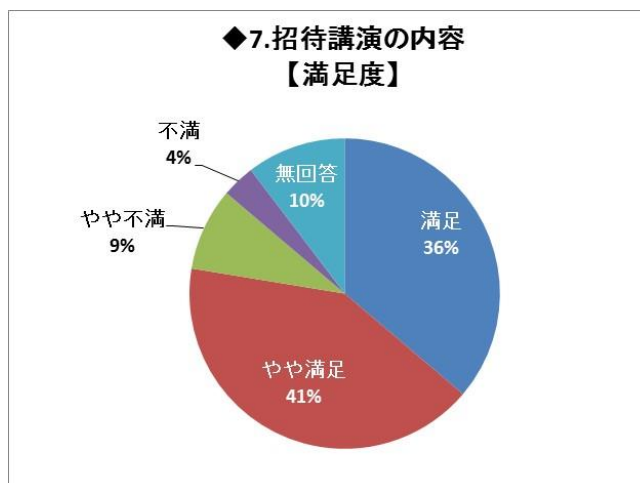
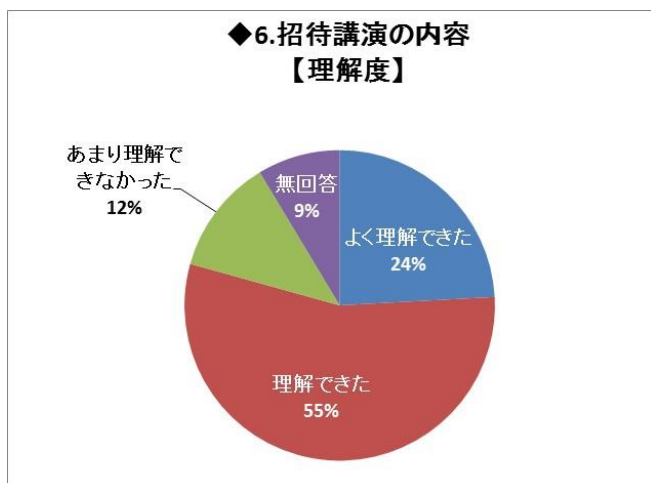


13. アンケート集計結果：

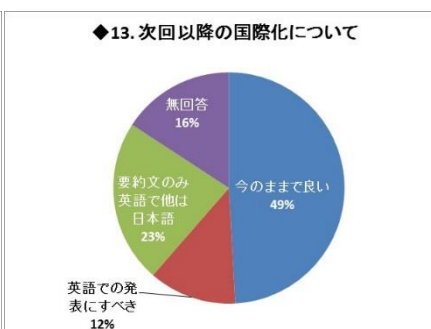
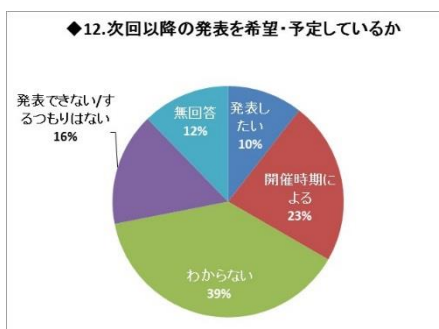
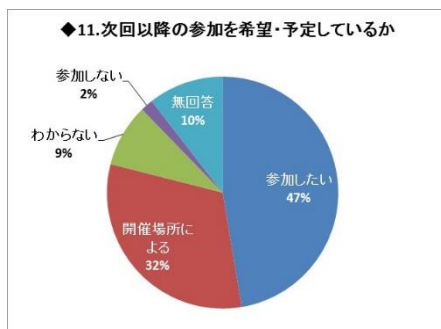
【Keynote speech】



【招待講演】



【次回以降の STAMP-WS について】



以上

第1回 STAMP ワークショップ in Japan [プログラム]

テーマ	「社会技術システムのモデル化と検証シンポジウム」 「STAMP ワークショップ in Japan」	
日程	日程：12月5日(月)、6日(火)、7日(水)	
場所	12月5日	九州大学稲盛財団記念館
	12月6日	九州大学西新プラザ
	12月7日	九州大学西新プラザ
「社会技術システムのモデル化と検証シンポジウム」		
12月5日 (月)	9:00-9:10	主催者挨拶：九州大学 研究院長 荒木啓二郎
	9:10-10:10	STPA チュートリアル(初級)：MIT Dr. John Thomas
	10:10-10:20	休憩
	10:20-11:50	STPA チュートリアル(中級)：MIT Dr. John Thomas
	11:50-12:00	休憩
	12:00-13:00	STPA 研究事例：MIT Dr. John Thomas
	13:00-14:00	昼食
	14:00-14:10	イントロ：九州大学 研究院長 荒木啓二郎
	14:10-17:20	招待講演 (Q&A 含め各 45分) 座長 新谷勝利、
	14:10-14:55	・『ソフトウェア IV&V と STAMP』 星野伸行、有人宇宙システム株式会社
	14:55-15:40	・『システム設計におけるセキュリティ要件定義』 小松文子、長崎県立大学・情報セキュリティ学科
	15:40-15:50	休憩
	15:50-16:35	・『システム理論と保証ケース手法の融合に向けた研究課題』 山本修一郎、名古屋大学・大学院情報科学研究科
16:35-17:20	・『セキュリティ製品開発のための厳密な仕様の記述と検証』 栗田太郎、ソニー株式会社・FeliCa 事業部	
18:00-	懇親会@九州大学稲盛財団記念館 会費：5,000円	

「STAMP ワークショップ in Japan」		
12月6日 (火)	9:30-9:40	プログラム委員長挨拶：長崎県立大学 教授 日下部茂
	9:40-11:10	招待講演 (Q&A 含め各 45分) 座長：日下部茂
	9:40-10:25	・『社会技術システムの「安全」とレジリエンス・エンジニアリング』 北村正晴、東北大学名誉教授、株式会社テムス研究所 所長
	10:25-11:10	・『機能共鳴分析手法 (FRAM) を用いた、レジリエンス・エンジニアリング の安全解析』 野本秀樹、有人宇宙システム株式会社
	11:10-11:20	休憩

11:20-12:00	STAMP ショート講演セッション (各 20 分) 座長：野本秀樹
11:20-11:40	① 農業用ハウス制御における STAMP モデリングの試行 (長崎県立大学 有田大作、日下部茂)
11:40-12:00	② 組織内ネットワークのセキュリティ被害軽減対策における STAMP モデリングの試行 (長崎県立大学 加藤雅彦、日下部茂)
12:00-13:00	昼食
13:00-14:30	STAMP 一般講演セッション A (各 30 分) 座長：三原幸博
13:00-13:30	③ 複雑システムの安全設計のための発想法 (会津大学 兼本茂)
13:30-14:00	④ ET ロボコンにおける STAMP/STPA の試行およびウェブベース STPA ツールの設計と開発 (日本大学 阿部淳朗、古川優也、仙台高専 岡本圭史、日本大学 松野裕)
14:00-14:30	⑤ ET ロボコン走行体システムへの STAMP/STPA 適用事例の紹介 (仙台高等専門学校 大友楓雅、菊池雄太郎、力武克彰、岡本圭史)
14:30-14:40	休憩
14:40-16:10	STAMP 一般講演セッション B (各 30 分) 座長：石井正悟
14:40-15:10	⑥ 水上パーソナルビークル MINAMO を題材にした安全性解析 (首都大学東京 武居直行、成岡駿之介、大塚悠太)
15:10-15:40	⑦ 水上セグウェイみなもの STAMP/STPA 分析/運用組織の視点からのハザード分析 (会津大学 清野正典、兼本茂)
15:40-16:10	⑧ 社員証型センサーを用いた健康増進システムへの STAMP/STPA の適用検討 (愛知工業大学大学院 小林良輔、三菱電機エンジニアリング株式会社 伊藤信行、愛知工業大学 梶克彦、内藤克浩、水野忠則、中條直也)
16:10-16:20	休憩
16:20-17:50	STAMP 一般講演セッション C (各 30 分) 座長：岡本圭史
16:20-16:50	⑨ 倒立二輪車の人間・機械協調制御システムの STAMP 解析 (IPA/SEC 佐々木千春)
16:50-17:20	⑩ 業務系システムへの STAP/STPA 適用事例 (日本電気株式会社 向山輝)
17:20-17:50	⑪ 制御システム以外の組込みシステムのソフトウェア障害に対する STAMP 適用の試み (日本電気通信システム株式会社 品質推進本部 ソフトウェア技術センター 羽田裕)

2016年12月16日(金)
第1回 STAMP ワークショップ in Japan
実行委員会

12月7日 (水)	9:00-10:30	STAMP 一般講演セッション D (各 30 分) 座長：川野卓
	9:00-9:30	⑫ 駅構内論理装置の踏切制御機能仕様に対する STAMP/STPA 解析 (JR 東日本 阿満利仁)
	9:30-10:00	⑬ 人と組織に関する HCF ヒントワード提案と事例適用 (IPA/SEC 三原幸博)
	10:00-10:30	⑭ 閉電路制御式踏切システムの安全性評価 (株式会社 京三製作所 開発センター 高田哲也)
	10:30-10:40	休憩
	10:40-11:40	STAMP 一般講演セッション E (各 30 分) 座長：兼本茂
	10:40-11:10	⑮ UCA 抽出における Extending STPA の試行事例 (日本ユニシス株式会社 総合技術研究所 未来環境室 福島祐子)
	11:10-11:40	⑯ STAMP/STPA におけるモデル検査の利用 (日本ユニシス株式会社 総合技術研究所 技術開発室 青木善貴)
11:40-12:00	クロージング 次回以降の STAMP-WS について (司会 兼本茂)	